

令和 6 年度

苫小牧市立病院経営強化プラン
評価報告書

令和 6 年 1 1 月

苫小牧市立病院事業経営評価委員会

目 次

1	はじめに	1	
2	経営強化プランに対する点検及び評価結果		
(1)	委員会としての具体的な評価手法	2	
(2)	委員会評価	2	
評価項目 1 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標			
(1)	医療機能に係るもの	4	
(2)	医療の質に係るもの	5	
(3)	連携の強化に係るもの	5	
(4)	その他	6	
評価項目 2 経営指標に係る数値目標			
(1)	収支改善に係るもの	6	
(2)	経費削減に係るもの	6	
(3)	収入確保に係るもの	7	
(4)	経営の安定性に係るもの	8	
評価項目 3 収支の状況			9
【附属資料】			
委員名簿			10
委員会の開催状況等			11

1 はじめに

本委員会は、令和4年2月に策定された「苫小牧市立病院経営指標」（以下「経営指標」という。）の各種指標について点検及び評価するとともに、同年3月に総務省から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、令和6年2月に策定された「苫小牧市立病院経営強化プラン」（以下「経営強化プラン」という。）の策定及び見直しの過程において、専門的な意見を提言することを目的として、医療関係、経済界、学識経験者、市民団体からなる外部委員で構成された評価委員会である。

今年度は、経営強化プランの計画初年度である令和5年度実績値について、点検及び評価、並びに意見を求められた。

令和5年5月から新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行したことを契機に、病棟の休止が一部解消され、患者数は、令和4年度と比較すると増加しているものの、コロナ禍前の水準には戻っていない。引き続き患者数及び病床利用率の回復に取り組んでいく必要がある。

今後も、医療従事者の不足や光熱費をはじめとした物価や医療材料等の高騰など、医療を取り巻く厳しい経営環境が続くことが予想される中で、経営強化プランに掲げた取組事項を着実に推し進めることにより、東胆振医療圏域の中核病院として、高度・政策医療の充実に努めるとともに、計画期間内に安定的な経営基盤を確立されることを希望する。

令和6年11月

苫小牧市立病院事業経営評価委員会

委員長 豊田 健一

2 経営強化プランに対する点検及び評価結果

(1) 委員会としての具体的な評価手法

苫小牧市立病院が令和6年9月に策定した「苫小牧市立病院経営強化プラン自己評価」（以下「病院評価」という。）に示された自己評価について、病院事務局に項目ごとに評価理由等の説明を求め、その内容を審議した。

評価基準は病院評価と同じものを用いることとし、特に委員会として特筆すべき事項を付した。

〔評価基準〕

A	経営指標の目標値を大幅に上回り、特に優れた成果が認められる。
B	経営指標の目標値を達成している。
C	経営指標の目標値をおおむね達成している。
D	経営指標の目標値を下回っており、改善の余地がある。
E	経営指標の目標値を大幅に下回っており、大幅な改善が必要。

(2) 委員会評価

〔総評〕

新型コロナウイルス感染症が5類相当に変更になった後もコロナ感染症による患者が無くなったわけではなく、従前どおり感染対策を実施し、感染患者の受入れと高度急性期医療の提供を両立したことを評価する。

今年度は計画の初年度であるが、実績値が経営強化プランの目標値をわずかに達成できず、病院評価においては「C」評価とされているものも多く見受けられた。また、2項目ではあるが、「D」評価とされているものもあった。今後、経営強化に向けた取組を病院全体で推進することを期待する。

〔個別項目の評価〕

委員会審議の結果、特に評価・意見を付すこととしたものについて、以下に示す。

評価項目 1 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

(1) 医療機能に係るもの

・番号 3 「訪問診療・看護件数」「D」評価

令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴う行動制限の緩和により面会制限などが解除されたことから、訪問診療の需要が減少し、実績値（86 件）が目標値（150 件）を大きく下回ったものと捉えている。今後の見通しとしても、令和 5 年度決算と同水準で推移していき、目標値とは乖離が出るのではないかと考える。

(2) 医療の質に係るもの

・番号 1 2 「クリニカルパス使用率【日数】」「A」評価

クリニカルパスの活用は、医療の質の保障と効率化を進める有効な手段であり、実績値（43.9%）が目標値（30%）を上回ったことを高く評価する。今後もパスの定期的な見直しや利用推進活動により、使用率の向上に努めることを望む。

評価項目 3 収支の状況

・番号 3 5 「病院事業収益」「D」評価

・番号 3 6 「病院事業費用」「A」評価

入院・外来収益がコロナ禍前と比較すると減少し、病院事業収益は目標値を下回ったものの、収益の減に連動して材料費等の病院事業費用が抑制されており、経常収支は目標値をわずかに上回ることができたことを評価する。

今後は、経常収支の黒字化に向けて、経営改善の取組に期待する。

個々の評価項目に対する本委員会の評価及び意見の一覧については、4～9 ページに示した。

なお、評価基準に基づく評価項目ごとの結果は以下のとおり。

区 分	A	B	C	D	E	合 計
評価項目 1	1	1 0	6	1	0	1 8
評価項目 2	0	1 0	6	0	0	1 6
評価項目 3	1	5	0	1	0	7
合 計	2	2 5	1 2	2	0	4 1

苫小牧市立病院経営強化プラン評価項目

1 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

(1) 医療機能に係るもの

番号	項 目	5 年 度 目 標 値	5 年 度 実 績 値	比 較	病院 評 価	苫小牧市立病院事業経営評価委員会評価・意見	
						評 価	意 見
1	地域救急貢献率(%)	38.0	34.1	▲ 3.9	C	C	病院が実施している救急患者受入れの検証方法や市立病院・王子総合病院・苫小牧市消防本部との連携について確認し、病院評価と同評価とする。
2	地域分べん貢献率(%)	68.0	71.6	3.6	B	B	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
3	訪問診療・看護件数 (件)	150	86	▲ 64	D	D	訪問診療の需要が減少した理由と今後の見通しについて確認し、病院評価と同評価とする。
4	手術件数(件) (うち全身麻酔手術) (件)	2,400 (1,400)	2,639 (1,584)	239 (184)	B	B	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
5	救急患者数(人)	5,500	5,357	▲143	C	C	
6	分べん取扱い件数(件)	700	698	▲2	C	C	
7	リハビリ件数(件)	36,700	43,626	6,926	B	B	件数の増加理由は、高齢化の進展ほか、整形外科等の入院患者数の増加が影響していることを確認し、病院評価と同評価とする。

(2) 医療の質に係るもの

番号	項 目	5 年度 目標値	5 年度 実績値	比較	病院 評価	苫小牧市立病院事業経営評価委員会評価・意見	
						評価	意 見
8	入院患者満足度(%)	100.0	99.0	▲ 1.0	C	C	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
9	外来患者満足度(%)	95.0	89.2	▲ 5.8	C	C	実績値を下回った要因として、待ち時間が長いと感じた患者さんの割合が増加したことを確認し、病院評価と同評価とする。
10	在宅復帰率(%)	90.0	92.1	2.1	B	B	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
11	クリニカルパス使用率 【患者数】(%)	60.0	64.2	4.2	B	B	
12	クリニカルパス使用率 【日数】(%)	30.0	43.9	13.9	A	A	クリニカルパスの活用は有効な手段であることを確認し、病院評価と同評価とする。

(3) 連携の強化に係るもの

番号	項 目	5 年度 目標値	5 年度 実績値	比較	病院 評価	苫小牧市立病院事業経営評価委員会評価・意見	
						評価	意 見
13	初診紹介患者数(人)	5,470	6,447	977	B	B	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
14	逆紹介(診療情報提供) 件数(件)	5,660	6,641	981	B	B	
15	紹介率(%)	55.0	53.5	▲1.5	C	C	
16	逆紹介率(%)	40.0	43.2	3.2	B	B	

(4) その他

番号	項 目	5 年度 目標値	5 年度 実績値	比較	病院 評価	苫小牧市立病院事業経営評価委員会評価・意見	
						評価	意 見
17	後発医薬品指数(%)	90.0	93.8	3.8	B	B	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
18	基幹型初期臨床研修医の受入人数(人)	14	14	0	B	B	

2 経営指標に係る数値目標

(1) 収支改善に係るもの

番号	項 目	5 年度 目標値	5 年度 実績値	比較	病院 評価	苫小牧市立病院事業経営評価委員会評価・意見	
						評価	意 見
19	経常収支比率(%)	95.5	95.9	0.4	B	B	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
20	修正医業収支比率(%)	79.2	79.1	▲0.1	C	C	

(2) 経費削減に係るもの

番号	項 目	5 年度 目標値	5 年度 実績値	比較	病院 評価	苫小牧市立病院事業経営評価委員会評価・意見	
						評価	意 見
21	給与費対 医業収益比率(%)	56.4	57.2	0.8	C	C	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
22	材料費対医業収益比率 (%) (うち薬品費比率 (%))	24.1 (13.1)	23.3 (12.2)	▲0.8 (▲0.9)	B	B	

(3) 収入確保に係るもの

番号	項 目	5 年 度 目 標 値	5 年 度 実 績 値	比 較	病院 評 価	苫小牧市立病院事業経営評価委員会評価・意見	
						評価	意 見
23	年間延入院患者数(人)	85,100	85,255	155	B	B	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
24	病床利用率(%)	69.4	70.0	0.6	B	B	
25	入院患者1人1日当たり診療収入(円)	70,517	68,686	▲1,831	C	C	
26	平均在院日数(日)	9.5	9.5	0.0	B	B	
27	DPC係数	0.4937	0.4937	0.0	B	B	
28	年間延外来患者数(人)	178,500	176,881	▲1,619	C	C	病院の自己分析にある高額な薬剤の使用の減少は、コロナ関連の薬剤ではないことを確認し、病院評価と同評価とする。
29	外来患者1人1日当たり診療収入(円)	15,770	15,331	▲439	C	C	

(4) 経営の安定性に係るもの

番号	項 目	5 年度 目標値	5 年度 実績値	比較	病院 評価	苫小牧市立病院事業経営評価委員会評価・意見	
						評価	意 見
30	医師数(人) (臨床研修医等も含む)	79	79	0	B	B	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
31	看護師数(人)	417	412	▲5	C	C	
32	企業債残高 (百万円)	7,762	7,762	0	B	B	
33	一時借入金残高 (百万円)	0	0	0	B	B	
34	累積資金収支 (百万円)	1,227	1,231	4	B	B	

3 収支の状況

(単位：百万円、税抜き)

番号	収 益 的 収 支	5 年 度 目 標 値	5 年 度 実 績 値	比 較	病院 評 価	苦小牧市立病院事業経営評価委員会評価・意見	
						評 価	意 見
35	病 院 事 業 収 益	11,680	11,407	▲273	D	D	病院事業収益は目標値を下回ったものの、収益の減に連動して材料費等の病院事業費用が抑制されていることを確認し、病院評価と同評価とする。
	医 業 収 益	9,668	9,406	▲262			
	入 院 収 益	6,001	5,856	▲145			
	外 来 収 益	2,815	2,712	▲103			
	そ の 他	852	838	▲14			
	医 業 外 収 益	1,981	1,970	▲11			
	特 別 利 益	31	31	0			
36	病 院 事 業 費 用	12,330	12,002	▲328	A	A	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
	医 業 費 用	11,604	11,293	▲311			
	職 員 給 与 費	5,450	5,383	▲67			
	材 料 費	2,326	2,192	▲134			
	経 費	2,801	2,698	▲103			
	そ の 他	1,027	1,020	▲7			
	医 業 外 費 用 外	590	573	▲17			
	特 別 損 失	136	136	0			
37	経 常 収 支	▲ 545	▲ 490	55	B	B	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
	当 年 度 純 損 益	▲ 650	▲ 595	55			

(単位：百万円、税込み)

番号	資 本 的 収 支	5 年 度 目 標 値	5 年 度 実 績 値	比 較	病院 評 価	苦小牧市立病院事業経営評価委員会評価・意見	
						評 価	意 見
38	資 本 的 収 入	903	868	▲35	B	B	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
	企 業 債	356	337	▲19			
	他 会 計 負 担 金 等	514	514	0			
	そ の 他	33	17	▲16			
39	資 本 的 支 出	1,312	1,296	▲16	B	B	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
	建 設 改 良 費	417	402	▲15			
	企 業 債 償 還 金	866	866	0			
	そ の 他	29	28	▲1			
40	資 本 的 収 支	▲409	▲428	▲19	B	B	

41	流 動 資 産	3,375	3,272	▲ 103	B	B	病院の自己評価・分析を確認し、病院評価と同評価とする。
	流 動 負 債	2,148	2,041	▲ 107			
	う ち 企 業 債	864	864	0			
	単 年 度 資 金 収 支	▲ 417	▲ 412	5			
	累 積 資 金 収 支	1,227	1,231	4			
	資 金 不 足 額	▲2,091	▲2,095	▲4			
	資 金 不 足 比 率	—	—	—			

※収支状況の数値については、公営企業の経営に当たっての留意事項について（総務省通知）の収支計画記載要領に基づき、収益的収支は税抜き、資本的収支は税込みで作成している。

【附属資料】

委員名簿

区 分		所 属	役 職	氏 名
委 員	医 療 関 係	一般社団法人 苫小牧市医師会	副会長	豊 田 健 一
		一般財団法人 ハスカッププラザ (苫小牧市保健センター)	事務局長	菅 原 真 一
		北海道胆振総合振興局 保健環境部苫小牧地域保健室 (苫小牧保健所)	次長	寄 木 幸
		室蘭市	病院事業管理者	新 井 一
	経 済 界	苫小牧信用金庫	本店副店長	今 野 佑 亮
		苫小牧商工会議所	経営支援部長兼中小企 業相談所長	堀 抜 信 吾
	学 識 経 験 者	北洋大学	教授（学部長）	西 川 祥 一
		高崎健康福祉大学	教授	木 村 憲 洋
	市 民 団 体	苫小牧消費者協会	副会長	伴 辺 久 子
	事 務 局	苫小牧市	副市長	山 本 俊 介
		市立病院	院長	堀 田 哲 也
			事務部長	佐々木 薫
			事務部次長	桐 木 賢
			経営管理課長	長 崎 佳 治
			地域医療連携室主幹	小 泉 伸 明
			医事課長	梅 木 秀 俊
			経営管理課長補佐	岡 路 大 輔
			経営管理課副主幹	福 井 教 彦
			医事課長補佐	小 林 裕
			経営管理課財務係長	梶 田 彩 乃

令和6年度 市立病院事業経営評価委員会 審議日程

1 評価委員会・市議会審議日程

日 付	内 容	備 考
9 月	第1回評価委員会（持ち回り開催） 経営強化プラン自己評価等を提示、質問等の受付	委員に資料を提出
10/4	市議会決算委員会 経営強化プラン【令和5年度決算反映】提示	
10/21	第2回評価委員会開催 経営強化プラン自己評価の審議等	委員出席
11/14	第3回評価委員会開催 委員会評価作成及び決定	委員出席
11/21	副市長へ委員会評価報告書を提出	委員長、副委員長出席
11/27	市議会厚生委員会 委員会評価報告書を提出	

2 評価委員会の開催場所等

	日 時	場 所
第1回	9 月（持ち回り開催）	—
第2回	10 月 21 日（月）18:30～	市立病院2階 講堂
第3回	11 月 14 日（木）18:30～	市立病院2階 講堂

3 副市長への評価報告書提出の開催場所等

日 時	場 所	内 容
11 月 21 日（木）16:30～	市役所5階 第1応接室	委員長、副委員長から副市長へ 評価報告書を提出